



よしだつうしん

吉田通信

第17号
【2016年2月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆「奇跡のレッスン」の指導者にみる4つの共通点◆

こんにちは！お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第17号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、皆さんはNHKのBSでやっております「奇跡のレッスン 世界の最強コーチと子供たち」という番組をご覧になられたことはありますか？各世界で活躍したプロスポーツの選手、監督が、そのスポーツをしている（日本の）小中学生の子供たちに、例えばバスケットボールやバレーボール、テニスやサッカーなどの1週間の特別レッスンをし、子供たちの変わって行く姿を追いかけるドキュメント番組です。

最初に見たときは、世界で活躍したプロが普通の子どもたちに教えるのは、レベルがあまりに違いすぎて、難しいんじゃないかと思っていました。ただ、この番組を“社員教育”という視点で見ている知り合いがいて、私もそういう視点で見ようになりました。

実際、世界で活躍したプロが子ども達を教育していくと、みるみる成長していくのですが、そのレッスンには4つの共通点がありました。①「楽しんでいる」どうやって楽しんでいるかと言えば、ちよつとずつ難易度を上げ、達成感を味わわせていました。②「絶対に怒っていない」怒らずに褒めていました。③「目的、目標が明確」試合に勝つためという明確な目的を持った練習であり、また、個々人に（これができるようになるという）明確な目標を持たせていました。④「チームワークを大切にする」まわりとコミュニケーションを取って、まわりを活かすようにしていました。

番組内では、小中学生の子ども達へのレッスンでしたが、きっと大人達（プロ）へのレッスンも基本的には同じではないか？と思いました。そして、上記の4つの要素はスポーツ選手だけでなく、会社で働く人間にも通じると思いました。



私は、世界で活躍した指導者でもなんでもありませんが、彼らから得た学びを社員教育に活かしていけたらと思っています。「奇跡のレッスン」とってもいい番組ですので、機会がありましたら、是非、ご覧になってみてください。

◆発行者コラム◆

先日、10数年ぶりにスキーに行きました。スキーをしたことがない長男（中2）が、学校でのスキー合宿を控え、事前のグループ分けのときに「自分はボーゲンができる」と書いてしまったそうです…。なので、合宿までにボーゲンができるようにならないと困るとのことで、急遽、ガーラ湯沢に行ってきました。長男は初心者レッスンを受けてボーゲンができるようになりましたが、自分で自分を追い込むというレッスン法もあるんだなあと、長男から学びました（笑）。吉田竹史

■■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史